

# えんちょう通信

No.25

令和2年 9月3日

福島市立清水幼稚園

発行者 佐藤一男

## 「どうして勝てたの？」

2学期がスタートしました。子どもたちはさっそく運動会の練習を始めました。運動会といえばやはりリレーです。年長組の子どもたちは、去年の経験があります。走る順番を自分たちで相談して、工夫して練習しています。でも年少組の子どもたちは初めてのリレーです。まっすぐ走るのも一苦労です。どうしても隣を走る子が気になって、なかなかまっすぐ走れません。これまでの練習では、ずっと白組が勝っていて、紅組はなかなか勝てません。その様子を見ていた先生が「カラーコーンを見て走ると、速く走れるよ。」「(折り返しのところは)カラーコーンの近くを回るんだよ。」と教えてくれました。そうしてもう一度走ってみると、なんと、これまでなかなか勝てなかった紅組が勝ったではありませんか。ようやく勝った紅組の子に「どうして紅組さんが勝てたの？」ときいてみました。すると「速く走ったからだよ。」と笑顔で答えてくれました。「自分の力で速く走れるようになったんだ。」と子どもに自信をつけさせてやるのが「教育」なのだと思います。子どもたちはそうやって自信をつけて、新しい世界へ踏み出していきます。運動会当日はどちらが勝つか、今からとても楽しみです。



[リレー、どっちが勝つか……]

## 豊かなかかわりが生まれる幼稚園



[みんなに大事にされています]

朝、登園の時間です。先に来たお母さんが、ベンチに座って他のお母さんとお話をしています。そして後から登園してきた子どもたちに「おはよう。」と挨拶の言葉をかけてくれます。また、お母さんについてきた入園前の男の子に何か声をかけているお母さんもいます。「もうすぐ幼稚園に入れるね。楽しみだね……」などと声をかけてあげたのでしょうか、その男の子はニコニコ喜んでいます。わたしたちは、昔からおばあちゃんやおじいちゃん、そして

ご近所のおじちゃんやおばちゃんなど、地域の方々にお世話になって子育てをしてきました。そして子どもたちは、そういう中で「人とかわる力」を身につけてきました。

子どもたちを中心に豊かなかかわりが生まれる幼稚園でありたいと考えています。